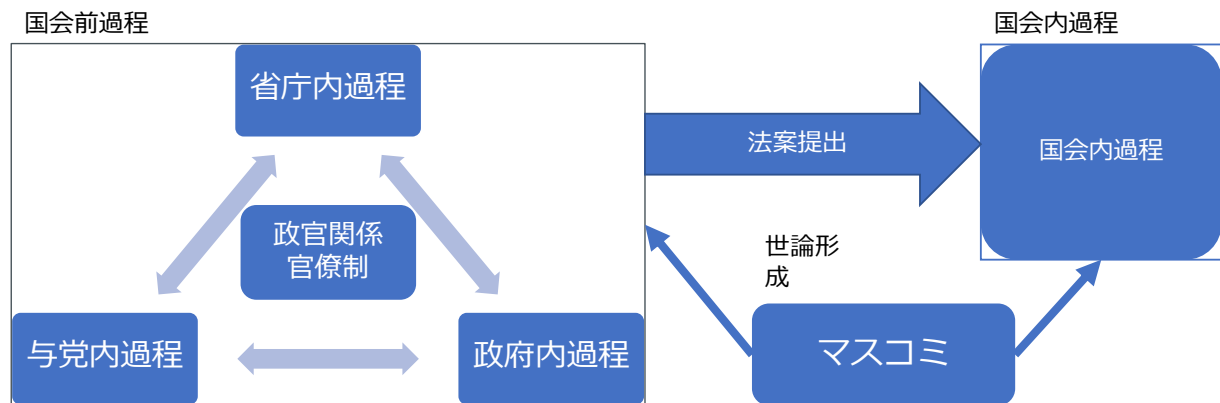


日本の法律： 立法の舞台



法律案の種類

- ① **内閣** 提出法案
→各省庁の**官僚**が原案を作成
- ② **議員** 提出法案
→一定数以上の賛同者の下、議院法制局の補佐とともに**議員**が原案を作成

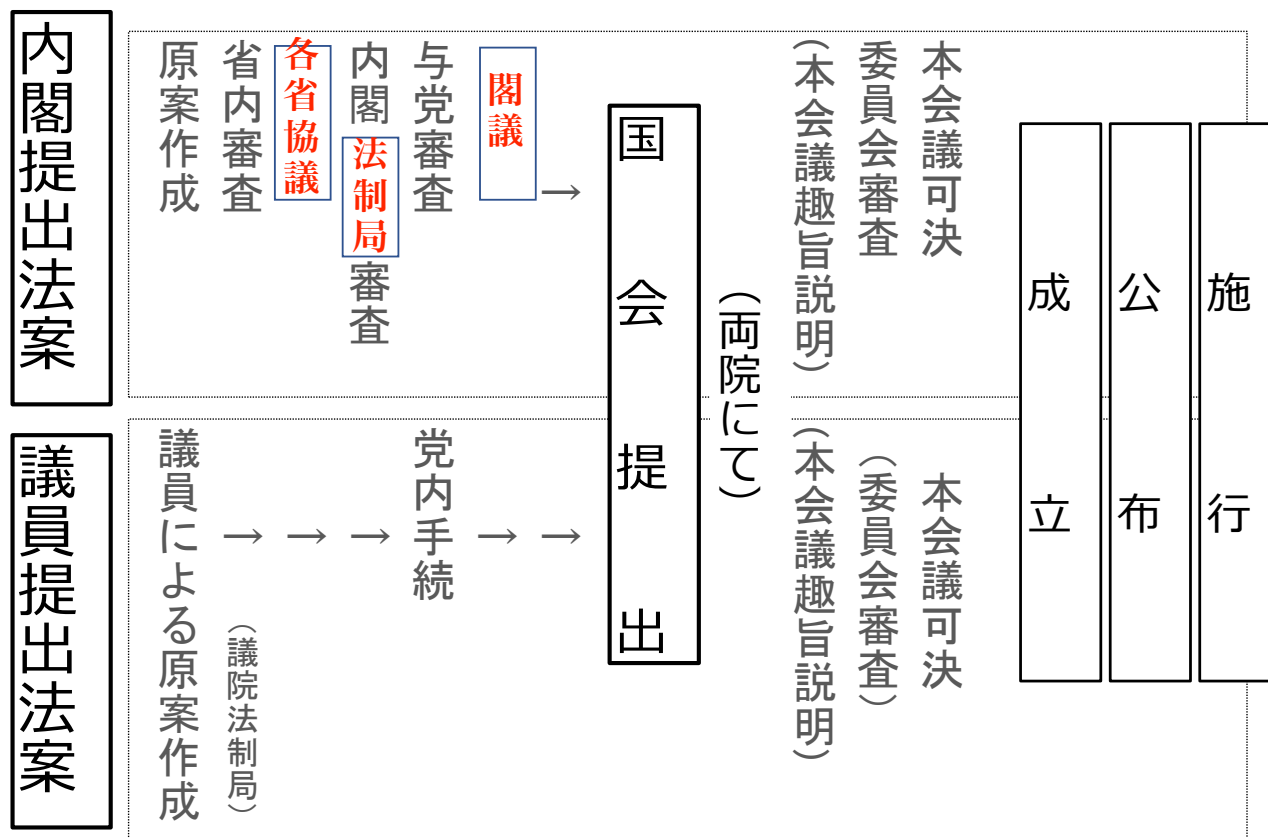
※重要法案のほとんどを**内閣** 提出法案が占める
2003～12年の第156回～182回国会までのうち、

内閣 提出法案 成立数：885本

議員 提出法案 240本

背景：政策立案に不可欠な情報・技術を官僚が独占、
国会に十分な発案機能なし

立法の流れ



立法の契機

① 内閣 提出法案

契機)

- ・各省庁が抱える政策課題の解決のため
- ・事件・事故等の発生や過去の国会審議において示された要求事項等

② 議員 提出法案

内容・契機)

- ・国会や政党関係法
- ・災害対策法、地域振興法、資格法 等

→野党の政策先進性のアピール

→内閣提出法案への対抗

成立を見込まず自らの政策表明
を行うだけに止まるものも多い

内閣**提出法案の問題点**

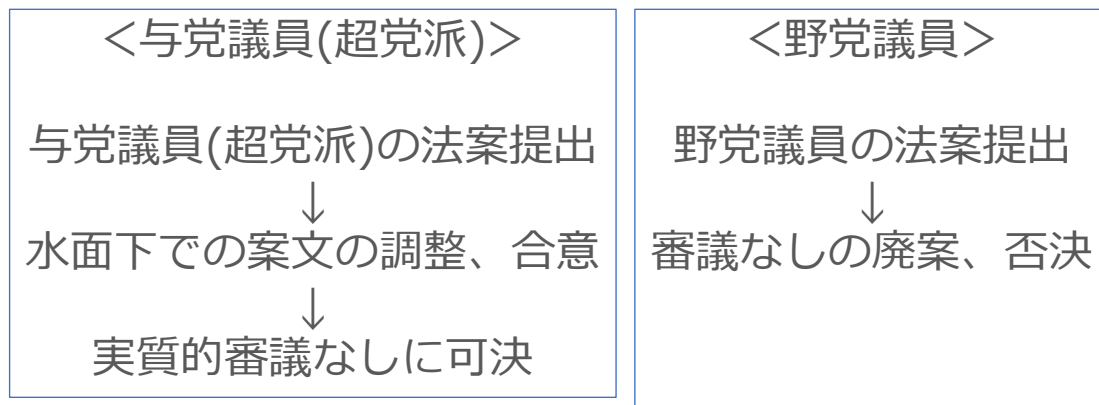
- 与野党の審議における対立
審議の引き延ばし、委員会での譲歩の主張
↓
- 制度化(儀礼化)している側面
- ←それぞれの立場、面子を国民に対して可視的に訴えるプロセスになるため

議員提出法案の問題点

- ① 提出数、成立数の少なさ
↓
 - 属する会派の承認を受けなければならない
 - 法案作成に必要な情報、技術等の各省庁の官僚の独占
 - 多くが **野党** 提出法案である 等
- 一方で、近年では成立数の増加、注目法案の成立も

議員 提出法案の問題点

② 与野党間の格差



→「立法補佐の拡充、発議要件の緩和等により議員立法の活性化を図る」べきとの議論も。